

# あべのだより

大阪市阿倍野区松崎町 3-6-25

TEL: 06-6621-6024

FAX: 06-6621-6070

## 6月号

e-mail: abeno-church@chic.ocn.ne.jp

HP: <http://catholic-abeno-church.net>

カトリック阿倍野教会 広報委員会

教会維持費献金振替口座 郵便振替:口座 No.00950-3-265515 加入者名:カトリック阿倍野教会

### 非常事態と信仰の見直し

カトリック阿倍野教会 主任司祭 山本英明

非常事態宣言により、不要不急の外出の自粛を迫られたとき、出エジプト記(12:21)、「家族ごとに羊を取り、過越しの犠牲を屠りなさい。そして、一束のヒソブを取り、鉢の中の地に浸し、鴨居と入り口の二本の柱に鉢の中の血を塗りなさい。翌日までだれも家の入り口から出てはならない」を思い出した。災いから民を守るため、神様は、家から出るなと命じた。まさに今、世界はコロナという災いに対して、外出自粛である。まことに神様の知恵と言葉に感服する。私たちは今、目印の血を塗らずとも、神様を信じて、人間の活動に走ることなく、不要不急の外出を控えられるか、信仰が試されていると思う。

同時に、思い違いの見直し。例えば、人との関り方。「集う」、「寄り添う」なんて言葉が安易に使われていたが、ソーシャルディスタンスがマナーとなった。そもそも神様と人間に物理的距離などない。ならば、「集う」、「寄り添う」を距離的に解釈しているならば、神様のみ旨とは違うことを教会は吹聴していたかもしれない。距離的に集い、寄り添わなければ、愛はないのか？むしろ現在は、物理的距離を気遣うことこそ、他者への愛とも言える。離れていても、愛はある。コロナはなにも変えていない。おかしかったのは人間の勝手な思い込み。何処においても偏った人間の知恵が蔓延している。それを見直す絶好の機会。信仰を強めましょう。

イエス様を思い出す公開ミサの再開を願うが、パーティーなくても、問題なく復活節が過ぎ越せました。余計な物事が多すぎたと思いませんか？

コロナのみならず苦難を抱えている方々に主の平和がありますように。

## 今だから思うこと ～コロナ禍の中で～

ミサが再開され、ようやくあべのだよりを皆さまのお手元にお届けできるようになりました。今回は、評議会に依頼し、評議員の中で何名かに原稿を書いていただきました。

見えない敵の恐ろしさをまざまざと体感する日々です。

コロナに感染して亡くなった方々、とても悔しかったと思います。

感染して1週間か10日くらいで亡くなってしまう、こんな病気今まであったでしょうか。誰もが明日感染してしまう恐怖、目に見えないだけによけいに怖さが増幅してまいります。

朝家を出てから帰るまでマスクははずせません。会社に行けば手洗い、消毒、ゴム手袋の装着、トイレ、販売室の消毒 身体中がアルコール臭くなってしまいます。でも今はこれが現実 やらなければ周りの人達に迷惑がかかる、そう思いながらしぶやっています。

1日も早く以前の日常が戻って来ます様に。 主の平和

平野睦夫

コロナ禍で教会に行けない日々が続いておりましたが、皆さんお元気で過ごされておられますか？

緊急事態宣言。毎日人が死んでいくニュース。戦争を知らない私たち世代にとって、初めての経験です。

ただ、人との交わり、分かち合いができないことで、見えてくることもあります。自分を見つめ直す時間、家族と過ごす時間ができました。移るかもしれない、移すかもしれないという恐怖の中で、小さな自分にできることを粛々とする。そして、教会に行けなくても、大切な教会をどうみんなで守るのか、新しい考え方が必要なのだと感じています。

会えなくても、兄弟姉妹である皆様の健康と幸せを祈っています。

中尾モニカ

新型コロナウイルスの影響でミサが、中止になって3ヶ月が過ぎようとしています。今まで、当たり前のように日曜日には、教会に行く。そして日常の生活が、一変してしまいました。

広報委員会で発行している「あべのだより」も3月号、4月5月合併号も印刷発行しても教会に来られない為、お手元にお届け出来ないと言う事態が発生してしまいました。「あべのだより」は毎月阿倍野教会のホームページにアップしています。これを機会に、インターネットを活用されてみてはいかがでしょうか？

自肅は、緩和されましたがまだまだ油断は出来ません。

皆さま、気を緩めることなく乗り越えて行きましょう。

広報委員会

5月31日聖霊降臨の祭日より、ミサが公に行われることになりました。

ソーシャルディスタンス等々沢山の制約がある中で、とりあえず安堵しております。何故なら、遅かれ早かれ教会は、この問題に向き合わないといけないと思っていたからです。国をあげての痛みを伴う厳しい自肅努力と、医療従事者の過酷な現場での献身的な支えがあって、コロナは(少なくとも日本では)急速になりを潜めて来ているように見えます。が、もちろん安心は出来ません。今回収束したように見えても、第二波、第三波も来るのでしょう。このウィルスが無くならないかぎり、人間が意識と行動を変えて行くしかありません。

典礼委員会としましても、私たちの中から決して感染者を出さないようにと、細心の注意を払ってまいります。今後とも皆様のご協力、どうぞよろしくお願い致します。

典礼委員会

私は毎日曜日教会へ行くようにしています。教会で歌ったり、御言葉を聞いたりするのが習慣でした。しかし、新型コロナウイルスの影響で教会が閉鎖されて、ミサに参加することができなくなりました。そのため、ミサがない間、家で聖書を読むことにしました。この時、私は一つのこと気付きました。今まで、私は神を賛美するためではなく、習慣・義務のために教会へ行っていました。自分で聖書を読んでいる内に、神

様と対話していると感じるようになって、より深く神様の思いを知ることができました。教会で祈ることは決して悪いことではないが、静かに聖霊に導かれるまま聖書を読むことも大切だと思います。

福音宣教委員会

神父様の毎週の説教が聞けなくなり、阿倍野だよりの巻頭言を黙想したり、女子パウロ会HPの教会カレンダーから、毎晩就寝前に福音を読んだりしています。毎日のニュースから、コロナウイルスに感染する危険を感じて、出来るだけ外出を自粛し、接触機会を減らすようにしています。自身も何か月も風邪症状が続き体調不良で心配です。今は、自分のことで精いっぱいです。

社会活動委員会 北川賢一郎

コロナウイルス感染拡大の影響で、子どもたちの生活もガラッと変わってしまいました。教会で集うことも無くなり少し寂しい気持ちにもなりましたが、神様は私たちに、「この時だからこそ、自分達に何ができますか？」と問いかけられているようにも感じます。子ども会では、週間雑誌「こじか」をメッセージとともに各家庭に発送しました。子どもたちから「今だからできたこと」を聞いてみました。

◎私は家でオンライン授業が受けられるようになったので、オンライン授業がなかった時より勉強時間が増えました。また、家族といる時間も増えました。コロナウイルスは、自分にとって悪いことばかりですが、少しいいところもあると思いました。瀬戸りな

◎自分たちで昼ごはんの用意をしようと思えることができた。

電車の、写真撮影の練習ができた。松本りく

◎おばあちゃんの家にお泊まりした。松本りょう

◎普段弾けなかった曲が、ピアノで弾けたので良かった。今西ののか

◎ミシンを使って服を作ったり、お菓子作ったり、お手伝いがたくさん出来た。

今西のえる

◎毎日家のお手伝いができて良かった。

洗濯物を干すのと取り入れをして、夕飯のご飯を炊くことができるようになった。

今西はるま

◎Disney ごっこが、できて、ミッキーのカレーを作った。

家族で、カードゲームができた。みんなで、串カツごっこができた。

絵本がいっぱい読めた。岩坂ゆいな

◎お家でお姉ちゃんとデザートをつくったり、スライムをつくったりしています!!

早く学校に行きたいし、みんなとあいたいです。河野れいな

◎中学校になると、勉強のレベルが小学校より上がるため、正直ついていけるか不安ですそれでも、自分だけじゃなくてリーダーの皆さんや世界中の人たちが同じ思いで頑張っていると思うと、私も同じ気持ちになります!!いち早くウイルスが終息して、学校に行けるようになりたいです。河野ゆうな

◎リーダー達や子供会のみんなと会えないのはちょっと寂しいけど、家にいる時でも楽しめる方法を考えたりすると、ポジティブになれました!!また普段どうりの生活に戻れるようにお祈りします。河野りな

◎知らない公園で、お友達が沢山できた。

◎カブト虫の幼虫を取りに行ってお餌ができた。(30匹)

◎おり紙をいっぱい折ることができた。

◎揚羽蝶を取るのが上手になった。

◎住吉公園から一人で帰ってこれた。

◎コロナでお友達と遊べずさみしい。

◎外に出たら人が少なくなっていた。

◎いつになったらコロナが終わるか考えてしまう。松尾かな、しんいちろう

◎給食と体育のありがたみが解りました。松尾母

できないことを残念に思うのではなく、今できることを探してみることは、子どもたちの方が上手かもしれません。

子ども会 岩坂 智美

## お知らせ

今年の一部の特定献金日(堂内献金)がコロナ自粛により日程変更になりました。

- ①聖地のための献金 4/10→9/13 に
- ②世界広報の日の献金 5/17→11/15 に
- ③聖ペトロ使徒座献金 6/28→10/4 に

財務委員会

## 予定表について

6月、7月の予定の掲載は控えます。

公開ミサ変更等は随時ホームページでご確認ください。

7月号は休刊いたします。

次回は聖母被昇天号の予定です。

